



2021年10月6日

報道関係各位

大和ライフネクスト株式会社

マンションみらい価値研究所
マンション総合 EXPO に出展・パネルディスカッション登壇

大和ハウスグループの大和ライフネクスト株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:石崎順子)の分譲マンション総合研究所「マンションみらい価値研究所」が2021年10月7日(木)・8日(金)に東京ビッグサイトで行われるマンション総合 EXPO 内マンションサポート展に出展し、8日(金)のパネルディスカッションのモデレーターとして当研究員が登壇いたします。



マンションみらい価値研究所として、マンション総合 EXPO 内マンションサポート展にブースを構え、マンション管理に関する ZOOM 個別相談会の申込受付を行います。また8日(金)10時30分より「マンション管理適正化法の改正が、“管理”と“中古マンション市場”を変える!？」のパネルディスカッションに当研究員がモデレーターとして参画することとなりました。本イベントを通じて、“マンション管理のシンクタンク”として、マンションが抱える社会課題に対する提言をしていきます。

<イベント概要>

マンション総合 EXPO・マンションサポート展

会期:2021年10月7日(木)・8日(金) 会場:東京ビッグサイト 青海展示棟 B ホール

公式 HP: <https://www.housing-biz.jp/management/highlight.php>

<パネルディスカッション概要>

日時	10月8日(金) 10時30分-11時30分(60分間)
場所	東京ビッグサイト 青海展示棟 B
テーマ	マンション管理適正化法の改正が、“管理”と“中古マンション市場”を変える!?
内容	中古マンションは“管理を買え”と言われて久しいが、購入検討者にとって管理の基準はわからない。一方で、建物や住まう人の高齢化は進み、次につなぐ世代

	の人口も減り続けている。売却するしないに関わらず所有者側にとっては“居住価値”や“持続可能性”の維持は大きな課題だ。法改正の目玉は、行政が管理状態を認定する新制度“管理計画認定制度”。この制度をきっかけに管理組合が胸を張って“管理を売る”ことを真剣に考え始めたら、中古市場も変化する可能性は高い。実務家3名がトークセッションを通し“管理”と“中古市場”のこれからを考えていく。
モデレーター 丸山 肇	大和ライフネクスト株式会社 マンションみらい価値研究所 エキスパート コンサルタント
パネリスト 土屋 輝之氏	株式会社さくら事務所 執行役員 マンション管理コンサルタント
パネリスト 永井 和也氏	マンション管理の教科書 代表 マンション管理士

<マンションみらい価値研究所とは？>

日本の「社会インフラ」となったマンションに存在する様々な問題点を、大和ライフネクストが積み上げてきた40年以上の企業活動により得られたデータを分析することにより、新たなマンションの価値創造に貢献するための調査報告を発信しています。発行された調査報告やデータは多くのメディアに取り上げられています。また、WEB マガジン“マンション元気ラボ”を運営し、専門家だけでなく一般の方にも読みやすい内容で様々な考え方や事例を発信しています。

公式 HP: <https://www.daiwalifenext.co.jp/miraikachiken/index.html>

最新のレポート「紛争の実態。マンションではどんな訴訟が起きているか？」
https://www.daiwalifenext.co.jp/miraikachiken/report/Report_029.html

マンション元気ラボ HP: <https://www.daiwalifenext.co.jp/mansion-genkilabo/>

以上